

建国70周年記念

中国国画大師作品展

焦秉義

・
金顯芝

・
焦広昌

・
焦広盛

・
焦広開

2019

5/14(火) ≡ 5/17(金)

【開幕式】2019年5月14日(火) 15:00～

入場無料

【会場】中国文化センター

東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル1F

【時間】10:30～17:30

(初日は15:00から、最終日は13:00まで)

【主催】中国文化センター、中国北京至臻一品書画院

【協力】中国企業資本連盟CECU千人書画院

【運営】大通広昌芸術品經紀人有限公司

【後援】中華人民共和国駐日本国大使館文化部、(公社)日中友好協会
(一社)日中協会、(公財)日中友好会館、(一社)東京華僑総会
全日本華人書法家協会、日中水墨画研究会

江山如画



中国文化センター
CHINA CULTURAL CENTER





中華人民共和国建国70周年を記念して、中国文化センターは中国北京至臻一品書画院を共催に迎え、「江山如画建国70周年記念 中国国画大師作品展」を開催します。本展は焦秉義、金顕芝、焦広昌、焦広盛および焦広開（在日華僑）の5名による「江山如画」をテーマにしたグループ展です。これらの作品たちが中国の山河の美しさ、中国画の魅力を日本の方々に届け、建国70周年という記念すべき年に中日の芸術交流をさらなる高みに推し進めることを望みます。

● 焦秉義

1933年河北省房山県生まれ。満族。山水、花卉、人物画を得意とする。中国全国的美術展と国際展覧会に多数参加。何十年もの芸術活動により発表した出版物は100を超える。作品は天安門城楼、人民大会堂、毛主席記念堂、博物館、ホテル、行政機関、学校ほか、国内外の個人に収蔵されている。

● 金顕芝

別名をアラタゴワ。1944年12月生まれ。北京中国書画協会と香港国際文化交流協会の理事を務める。作品は1989年から現在まで中国美術館、労働人民文化宮、民族文化宮などで展示され、北京日報、中国人材報などの主要新聞に掲載される。1994年、大韓民国国際美術展に出品した『万里の長城図』が金賞を受賞した。2000年9月、韓国独立記念館で代表作『白樺の林』を主とする個展を開催。

● 焦広昌

旧名を金明、雅号を静溪。1969年3月北京生まれ。モンゴル族。書画の家柄。竹を描くのを得意とする。中国民主建国会会員、中国科学院96期修士課程卒業。文化部の芸術品の高級マネージャー。

● 焦広盛

別名をウランバトル、雅号を盛軒。1972年生まれ。モンゴル族、読書人の家柄。中央美術学院の壁画学部を卒業後、文化財の鑑定を学ぶ。彼の描く禅宗の人物画は、伝統と時代の特徴が託されている。現在は北京中国書画協会常務副会長、北京中国書画協会芸術鑑定委員会主任、中華民族芸術貴重品審査鑑定委員会専門家委員を務める。

● 焦広開

画家。北京書画協会海外芸術最高顧問。中国中央美術院の黄均教授から工筆重彩画の基礎を学び、愛新覺羅溥傑から書道、人格、人柄の教養を仰ぐ。80年代、溥傑の影響から画家東山魁夷への敬慕の念を抱き日本に渡り、90年代東山魁夷に師事する。近年は、東京都上野美術館、O美術館などで展示し、北京でも個展を開催した。



● 日比谷線「神谷町」駅4a番出口より徒歩5分 ● 銀座線「虎ノ門」駅2番出口より徒歩7分



中国 文化センター
CHINA CULTURAL CENTER

東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル1F
Tel: 03-6402-8168 Fax: 03-6402-8169
E-Mail: info@ccctok.com
HP: <https://www.ccctok.com>

中国文化センター イベント



開幕式の申込みは、中国文化センターHPのイベント案内一覧ページよりお願いします。
<https://www.ccctok.com/event/>